



志木三小だより

学校運営協議会スローガン「ともに愛そう わがまち わが学校」

志木市立志木第三小学校

令和4年7月21日

志木市柏町3丁目2番1号

TEL 048-471-1062

1学期を振り返って～体験的に学ぶ～

校長 関根 久美子

1学期の終業式を迎えました。本年度は、新型コロナの感染状況を検討しながらも、「体験的な学び」を取り戻してきました。3年生が、発掘現場を見学に行ったり、6年生が、埋蔵文化財保管センターの方の授業を受けたりしました。教科書に書いてあることを「覚える」「学ぶ」ことはもちろん大事なことです。けれども、「本当にそうなのか」「どうしてそうなるのか」疑ってみたり、たしかめてみたりすることは、さらに大事なことです。

また、7日、8日には6年生が修学旅行に行ってきました。教科書や、資料集で「写真」でみることができる東照宮が目前にありました。実物の迫力は子供たちの心に響いたようです。しおりの、記述スペースでは足りずに、表紙の裏にもびっしりとメモを取っている子がいました。

さて、学校での学習には、どうしても制約があります。「学習活動は1単位時間45分で行う」「時間割通り行う」「今日は教室で学ぶ」など、自分の「学びたいように学ぶ」ことができない時もあります。

アリの行列を見て、「どこに行くんだろう」「巣の中はどうなっているんだろう」「これはなんというありなんだろう」と様々な「どうして」「なんで」が浮かんだ時、空を飛んでいる飛行機を見て、「どうして飛べるんだろう」「自分で空飛ぶ飛行機を作りたい」「飛行機の歴史は何だろう」と「やってみよう」「作ってみよう」が浮かんだ時、1単位時間45分は短すぎます。部屋の中は狭すぎます。

夏休みは、自分の「疑問」を、「調べたいこと」を、とことん追究できます。学校でいうと、1時間目から4時間目まで、時にはお昼ご飯を後回しにしても、「考え続ける」「調べ続ける」「作り続ける」ことができます。是非、とことん「学び」を「追究」してください。アリの後を追って、アリの巣を突き止め、アリの種類を調べ、実際にアリの巣を作ってみる。そんなこともできます。一番遠くまで飛ぶ紙飛行機を作るために、たくさんの紙飛行機を作って飛ばしてみる。なんてこともできます。

もちろん、「じっくり本を読む」「縄跳びの技を極める」（熱中症に注意）「手芸で大作を作る」もいいと思います。学校での時間の制約や、場所の制約から自由になって、思いっきり「やってみて」ください。保護者の皆様、どうかご協力ください。

また、夏休みには各ご家庭で「体験的に学ぶ」機会があると思います。有意義な体験をしてください。一つの「体験」から子供たちは多くのことを学びます。振り返り、「絵に描く」「レポートにする」「作文を書く」などまとめてください。保護者の皆様も「学ぶこと」があるはずです。「子供の成長」「課題」「良さ」「これからの関わり方」などです。学校では見せない子供たちの姿を受け止めて、共有して、精神的に「密」な時間を過ごしてください。

最後になりましたが、地域保護者の皆様ご支援をいただき、無事に1学期の教育活動を終えることができますこと、心より感謝申し上げます。どうぞ、事故なくお過ごしください。